



## 疾風怒濤の令和 2 (2020) 年度が始まりました

中国武漢から始まった COVID-19 が席卷する中、令和 2 (2020) 年が始まりました。4 月 7 日には国の緊急事態宣言も出され、大阪府全域で 3 月初めから続く休校状態になっています。1 学期一杯までの対面授業再開が危惧される状況です。事務局担当北浦・中井が勤める追手門学院でもテレワークが始まり、自宅でネット上に配信できる教材づくりに四苦八苦しています。誰もが一生に一度といえる経験の中にいるものと思います。



[https://www.onhealth.com/content/1/2019-ncov\\_wuhan\\_coronavirus\\_outbreak](https://www.onhealth.com/content/1/2019-ncov_wuhan_coronavirus_outbreak) より改変

14 世紀にヨーロッパからアジアに広がった黒死病(ペスト)では、1346 年から 20 数年間流行が続き、当時のヨーロッパの総人口 1 億人に対して死者が 2500 万人、世界での死者 8500 万人という被害が出たといわれています。また、1918 年当初から 1920 年初頭まで世界中に広まったいわゆるスペインかぜ(今日の A 型インフルエンザ)では、世界の感染者 5 億人、死者は 5000 万~1 億人といわれ、当時人口 5500 万人だった日本でも 39 万人が死亡したといわれています。第二次世界大戦での全世界の戦死・関連死者数 5000 万~8000 万人と同規模で、まさに「人類最大の天敵は感染症」であると感じます。COVID-19 がこれらに匹敵するものなのかどうかは、今後の状況を見ないとわかりませんが、協力会の会員の皆様にも、日々学校現場に立たれている研究会会員の皆様にも、ぜひ健康に留意され、健やかな日々を過ごされすことを、心より願っております。

## 今年度研究会ならびに協力会の総会について

今年度の大阪府高等学校生物教育研究会の総会について、研究会事務局の大阪教育大学附属高校池田校舎岡本元達先生から案内をいただきました。このような情勢では延期もやむなしと思っておりましたが、現在のところ、下記の予定通り実施することになっております。協力会では 10 分程度時間をいただき、協力会の総会を行うとともに、協力会から研究会への補助金の贈呈式を行いたいと考えております。今年の総会での講演は、2005 年に生物教育会の大阪大会でご講演いただいた中村桂子先生にご登壇いただきます。ぜひ万障繰り合わせの上、ご参集いただければと思っております。

日 時 令和 2 (2020) 年 6 月 1 2 日 (金) 午後 2 時 3 0 分より  
場 所 JT 生命誌研究館 (大阪府高槻市紫町 1-1, JR 京都線高槻駅より徒歩 10 分)  
内 容 14:30~ 大阪府高等学校生物教育研究会 総会  
終了後すぐ 大阪府高等学校生物教育研究会協力会 (本会) 総会  
15:00~ 講演会 中村桂子先生 (JT 生命誌研究館館長) 演題等は未定です  
研究館の他の先生からの最新研究紹介も行います

- ・なお、生物教育研究会の総会の開催について、その可否、実施するにしても時期や場所が議論されている状況です。協力会に、別途ご案内を差し上げる余力はございませんので、開催の有無・日程・場所の変更などについては、研究会の HP (<http://seiken.sub.jp>) 等でご確認ください。

# 第 71 回大阪府高等学校生徒生物研究発表会に参加して

協力会会長 大島 みどり

令和元(2020)年 11 月 23 日文化の日、第 71 回大阪府高等学校生徒生物研究発表会が例年通り長居公園の大阪市立自然史博物館で開催されました。

研究発表部門は 16 校 19 本、活動報告部門は 14 校、ポスター部門は 1 校の参加があり、会場もほぼ満員の盛況でした。

内容は身の回りの疑問や課題から端を発したもの、大阪の高校生のバイタリティーを感じさせるものが多く見受けられました。

中には、新種発見や絶滅危惧種の保存に繋がる可能性を感じさせるもの、何年も継続して発展させていらっしやるもの、これからの新たな展開を期待させるものなどがあり、ワクワクしながら拝見しました。

この発表をするために「ここはどうだったろう?」「あれも調べなくては」等と次々と内容が広がり、発表をすることによってさらに考えが深まったり、知見が広がったり、次への展開を思いついたり、生徒の皆さんにとっては「探究」の基礎となり、さらにはこれからの長い人生のバックボーンとなっていく、素晴らしい経験の一つであると感じています。

また、情報交換の時間には、活発な意見交換が行われ、生徒さんたちが発表するためにどれほど専門的な知識を得てこられたかを垣間見ることができました。

優秀研究賞には、常翔学園の「ナミアゲハの蛹の突起について～『頭頂突起』の機能」が選ばれました。

30 年・40 年先の生徒さんお一人お一人の人生をこの経験が彩るものとても楽しみになりました。

最後になりましたが、生徒さん達のこの発表は、各校の先生方のご指導の賜物であることは言うまでもなく、感謝の思いを改めて深く致しました。

運営の先生方にも深く感謝いたします。

来年も楽しみしております。

(令和元年 11 月記)

本年度も第 72 回大阪府高等学校生と生物研究発表会を、11 月 23 日(祝)に大阪市立自然史博物館で開催する予定になっております。時間がおありでしたらふるってご参加いただき、若き生物学徒に声援を送ってあげてください。

## 日本生物教育会全国大会(長野大会)は 1 年順延に…

今年の夏の日本生物教育会の全国大会は長野県松本市での開催です。…と書いていたところ、全国大会の 1 年間の順延の連絡がやってきました。下記の日程は当初のものです。365 日の順延ではありませんので、細かな日程などは変更が予想されます。次の協力会だよりで、もうすこしくわしい来年度の開催状況がお知らせできれば、と思っております。

当初日程 2020 年 8 月 7 日(金)理事会, 8 日(土)総会・記念講演・研究発表・意見交換会

9 日(土)・シンポジウム・ポスターセッション・現地研修

～11 日(火)現地研修

当初会場 松本大学(長野県松本市新村 2095-1)

2021 年 8 月開催に変更  
2020 年は開催しない

## 第 77 回日本生物教育会大阪大会の概要

2022 年の夏に、17 年ぶりの大阪で日本生物教育会全国大会が開催される予定でしたが、長野大会の 1 年順延に伴い、**2023 年開催**ということになりました。それが決まる前に、研究会の委員会で協議していた概要を報告しておきます。長野大会同様に単純に 365 日順延というわけではありませんし、同じ会場での実施が可能かは現時点では未確定ですが、現状をご確認いただくために参考として掲載します。過去の全国大会と比較し、経済的にも人的にも、大阪の研究会で大会運営していくのはたいへん厳しい状況にあります。協力会の皆様にも、さらなるご理解とご協力をお願いすることがあると思います。ぜひよろしくお願いいたします。

当初日程 2022 年 8 月 8 日(月)理事会, 9 日(火)総会・研究発表・研究協議・意見交換会

10 日(水)講演会・シンポジウム・現地研修・実験研修, 11 日(木)現地研修

当初会場 近畿大学東大阪キャンパス

### 諸連絡

#### 1. 今年度も続いて会員登録（会費振り込み）をお願いします。

会費振り込み用紙を同封しますので、5 月下旬ころまでに振り込んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。会費は正会員 3,000 円、賛助会員 2,000 円ですが、寄付を上乗せして振り込んでいただいております方には、重ねて御礼申し上げます。なお、振込用紙の連絡欄に近況をお書きください。次号に掲載いたします。

#### 2. 故梶村重次先生の奥様よりご寄付をいただきました

本研究会の委員や副会長を歴任された梶村重次先生が平成 30(2018)年 12 月 9 日にご逝去されましたことは、本協力会日より 20 王でご報告させていただきました。この度、先生の奥様から多額のご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。

奥様は、研究会ならびに協力会の活動に有効に使うことを願っておられます。直近の研究会活動では全国大会の開催という大きなイベントがあり、困窮している研究会の現状ではそのために使わせていただくのが最も有効であると考えております。協力会には特別会計は存在しませんので、一応一般会計に繰り入れておりますが、2023 年の日本生物教育会の全国大会での活用を考えていることをお含み下さい。

#### 3. 令和元(2019)年『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員

(R2.4.20 現在、令和元年度会費納入者)

(正会員) (記載順は会誌記載の役員名簿による)

足立 堯	石崎 英男	井上 慎一	今安 達也	江坂 高志	大江 進
大島 みどり	奥野 嘉彦	奥本 隆	小畑 和人	加賀 友子	萱村 善彦
北浦 隆生	木村 進	河野 成孝	佐々木 洋一	杉山 友重	澄川 冬彦
竹林 隆昭	橘 淳治	田中 正視	辻本 昭信	富田 織江	中井 一郎
中野 俊勝	平岡 誠志	廣瀬 祐司	福坂 邦男	古久保 俊子	牧野 修司
松田 仁志	松本 弘	安井 博司	山住 一郎	吉川 浩	和佐 眞宏
渡邊 勉治郎					

(以上 37 名)

(賛助会員)

寺岡 正裕 柴原 信彦 幸川 由美子 長尾 祐司

(以上4名)

(元会員)

浅野 素雄 山田 惇 山田 孝子 寺井 見一 原田 彰 三木 正士  
折井 亮夫 西河 巖 中村 武男 柿迫 修 吉村 烈 江藤 昌晴  
中根 将行

(物故会員)

佐古 廣衛 原本 哲也 多々 浩爾 中原 圓 平賀 正男 梶村 重次

4. 令和2(2020)年『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』役員

- ・会長……大島 みどり      ・副会長……井上 慎一
- ・幹事……北浦 隆生, 中井 一郎, 橘 淳治
- ・賛助会員代表……寺岡 正裕 (研究会会長), 柴原 信彦 (研究会副会長)
- ・事務局 (事務局長……北浦 隆生, 会計……中井 一郎, 会計監査……橘 淳治)

研究会会長で本協力会賛助会員代表の寺岡正裕先生は、今年3月31日で定年ご退職になられたと聞いております。従いまして、寺岡先生は賛助会員代表からは退かれる予定です。50代後半で賛助会員になっていただける研究会の役員・委員が少ない状況が続いております。したがって、現賛助会員代表の柴原信彦先生には引き続き代表を引き受けていただき、新たな賛助会員代表は選任しない方向で考えております。この件につきましては、総会で確認・報告させていただく予定です。

今回は、コロナウイルス関連で行事動向がわかるまで、ということで本「たより」の発行を遅らせておりました。しかし、あまり遅くなると会費徴収も遅れることから、1ヶ月遅れという時点で見切り発車させていただきます。この間に長野大会の1年順延が決まり、研究会の総会の開催も危ぶまれています。ぜひ、先にあげた研究会のHPでご確認ください。追手門の北浦・中井まで問い合わせいただくことも可能ですが、現状は両名ともにテレワーク中ですので、週1回か2回程度しか出校していないことをご容赦ください。

事務局へのお問い合わせは、追手門学院大手前高等学校(06-6942-2235)北浦・中井

または、北浦 隆生 (586-0007 河内長野市松ヶ丘東町 1349-1)

中井 一郎 (545-0001 阿倍野区天王寺町北 3-4-15)

までご連絡ください。